

平成 30 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,313,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期	H28下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,141	16,160	16,831	17,613	18,794
	移動児童館利用者数	810	1,114	661	839	1,403
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	12(7)	18(11)	22	16	25
	開館日数(単位:日)	144	145	143	149	144

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①4月～9月 9時30分～17時30分 10月～3月 9時～17時 ②所長(本務)、常勤職員(児童厚生員)1人、非常勤職員(児童厚生員)2人。 ③おたより「わんぱくっこ」を小学校に配布、「幼児用予定表」を保健センター及び公民館に掲示。ホームページの活用。 ④利用者アンケート(幼児の保護者、小中学生)の実施。 ⑤計画通りに実施。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①仕様書通りに実施。 ②毎日の清掃、就労促進事業清掃班による清掃、業者によるカーペット清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施、工作には廃材を利用している。 ④破損した玩具については、「おもちゃ病院」の協力を得ている。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①軽修繕においては、運営主体に依頼。 ②大規模な修繕については、岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアルに沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。 乳幼児対象救命講習を実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成31年3月5日～19日 保護者(一般来館・クラブ参加)の73人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数73人 【小・中・高校生用アンケート】 平成31年3月16日～27日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数53人(小学:1年10人、2年12人、3年8人、4年6人、5年4人、6年8人 中学:3年5人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】柳津(26人) 鶉(18人) 茜部(12人) 市橋(6人) 市外(5人) 且格(3人) その他(3人) 【年齢】10代(0%) 20代(11%) 30代(73%) 40代(15%) 50代以上(1%) 【利用頻度】初めて(0%) ほぼ毎日(0%) 週2～3回(7%) 週1回(22%) 2週間に1回(67%) 月1回(4%) その他(0%) 【来館相手】子(99%) 孫(1%) 友人(0%) その他(0%) 【子・孫の年齢】0才(2%) 1才(41%) 2才(32%) 3才以上(25%) 【来館方法】徒歩(1%) 自転車(4%) 自家用車(95%) 公共交通機関(0%) その他(0%) 【何で知った】ホームページ(46%) 広報紙・チラシ(11%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(36%) ぎふし子育て応援アプリ(0%) ソーシャルメディア(0%) その他(7%) 【評価】 (あいさつ)………満足(81%)、ほぼ満足(16%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(77%)、ほぼ満足(14%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(82%)、ほぼ満足(15%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(60%)、ほぼ満足(30%)、普通(9%)、やや不満(1%)、不満(0%) (整理整頓)………満足(67%)、ほぼ満足(27%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)………満足(60%)、ほぼ満足(27%)、普通(10%)、やや不満(3%)、不満(0%) (換気)………満足(58%)、ほぼ満足(25%)、普通(16%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】柳津小学校(48人) 境川中学校(5人) 【学年】小学:1年(19%)、2年(23%)、3年(15%)、4年(11%)、5年(8%)、6年(15%)、 中学:1年(0%)、2年(0%)、3年(9%)、高校:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】初めて(6%)、毎日(4%)、週4・5回(41%)、週2・3回(40%)、週1回(9%)、その他(0%) 【来館相手】ひとり(4%)、友人(57%)、兄弟姉妹(5%) 父母(34%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、 その他(0%) 【来館方法】徒歩(2%)、自転車(64%)、自家用車(34%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】ドッジボール(29%)、卓球(25%)、バドミントン(15%)、カロム(12%)、マンカラ(7%)、 なわとび(6%)、その他(6%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○駐車場が困ります。雨の日は大変です。 ⇒いつもご不便おかけし申し訳ございません。複合施設のため、たくさんの方が利用されます。満車の時はカラフルタウンをご利用ください。よろしく申し上げます。 ○行事の予約やキャンセルを電話やインターネットでできるとありがたいです。 ⇒予約に関しては直接お越しいただいておりますが、今後検討します。 ○(クラブについて)体操もあると嬉しいです。 ⇒時間の都合で省いたことがあったかもしれませんが、今後は行います。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A	
		区分評価			A		
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		区分評価			A		
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A
⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A	
区分評価				A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A	
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A	
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A	
		区分評価			A		
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S	
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A	
		区分評価			S		

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度より、「骨盤体操」・「ぞうさん広場」を開始した。 母親対象の「骨盤体操」は参加人数はさほど多くはないが、リピーターが多く来年度も継続の予定。 乳幼児対象の「ぞうさん広場」は下半期4回開催。缶バッジなど記念になる作品が作れるということで、特に0歳児親子に好評である。 ○新しい取り組みとして、登録制幼児クラブの活動に、乳幼児向けの「救命講習」を実施。我が子の命にかかわることなので参加者全員真剣に話を聞くことができた。また、2歳以上のクラブでは、地域の「消防署見学」を実施した。真近に消防自動車や救急車を見ることができ、大変好評だった。 ○地域の大きな行事である「凧揚げまつり」の実行委員として携わり、材料の手配、申込み受付、作り方の指導を受け持ち準備の段階から、青年部・小学校PTA・自治会・岐阜聖徳学園大学の学生たちと連携が持てた。 ○併設の高齢者福祉センターとの合同行事で、「ぜんざい会」を実施し、乳幼児親子さんとお年寄りとのふれあいの時間を持つことができた。 ○毎年恒例の「じどうかんはるまつり」は、小学生スタッフ・岐阜聖徳学園大学、教育文化研究会の協力により、盛大に実施。 ○柳津美術展へ子どもたちの作品を出展した。 ○長年に渡って講師の先生方のご協力により、毎月定例で乳幼児親子対象の行事(ヨガ・リトミック・3B親子ふれあい体操・ダンスなど)を実施することができた。今後も引き続き継続できそうである。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との関わりについて <ul style="list-style-type: none"> ・移動児童館として、放課後子ども教室・小学校授業参観後の託児・児童クラブ・地域のおまつりなどで下半期12回実施できた。 ・子育て支援地域連携会議に出席し、地元の保育園など各種団体の方々と有意義な話し合いができた。 ○岐阜市社会福祉事業団主催の職員研修会に参加し、他の職員に伝達お互いのスキルアップに努めた。 ○複合施設の利点を活かして、高齢者と幼児、小学生のふれあい、児童クラブの児童が一緒に参加できる行事を積極的に取り入れた。
<p>今後の取組み</p>	<p>児童館を運営していく上で3本柱に重点をおいて、引き続き事業を展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の特徴である、『意図的』ではなくても普段の遊びの中で異年齢の子と関わりが持てるという事を活かして、集団遊びの機会を増やすような行事を計画する。 ・一人で来ても、『児童館へ行けば、何か楽しいことがある』と子どもたちが思えるような場所になるよう目指していく。 ○子育て支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の利用が非常に多いので、現在実施している幼児クラブを中心に、リトミックや英語などバラエティーに富んだ行事を計画する。 ・母親対象の行事も、子どもを連れて参加できるという利点を生かして「ママサークル」・「骨盤体操」も継続していく。 ○地域組織活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体に関わる行事に、メンバーとして要請される機会が多い。 ・今後も、校区の小学校を初めとする団体と、連携を密にとりながら、お互いに協力しあっていく。 ○新規事業として、未就園児とその保護者を対象とした「ひつじクラブ」を実施の予定である。

●所管課の意見

<ul style="list-style-type: none"> ○担当地区の小学校に毎月「おたより」を配布、地域の公民館や保健センターに広報紙を設置したほか、ホームページにおいて児童館の紹介と「おたより」を掲載するなど児童館の周知を図った。 ○移動児童館について、年間30回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を達成されている。 ○新規事業として乳幼児向けの「救命講習」や乳幼児親子対象の行事を実施するなど乳幼児を持つ母親の支援に努めた。 ○高齢者福祉センターとの併設の特性を活かした乳幼児親子と高齢者が触れ合う「ぜんざい会」を開催し、世代間交流を図った。 また、児童館主催の「じどうかんはるまつり」に小学生や大学生をボランティアとして協力してもらったり、地元行事である「凧揚げまつり」に実行委員として参加するなど、積極的に地元と連携、交流を図ることにより地元に対して貢献するとともに地元との強い協力体制が構築されている。 ○インフルエンザなどの感染症の流行や他の公共施設において事故等が相次ぐ中、安心安全な施設運営に心がけ、事故等が発生しなかったことを評価したい。 ○職員体制や運営状況については問題なく行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

<p>これまでも高齢者福祉センターをはじめ、地域の多くの関係機関と連携し、児童館の行事に協力してもらったり、児童館も積極的に出かけている。これらは今後とも継続していただきたい。 新規事業として救命講習や消防署見学を行っており、利用者サービスの向上に努めているところを評価したい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--